

道徳便り 2020



在校生のみなさん、進級おめでとうございます。そして、新入生のみなさん、入学おめでとうございます。新しい季節となり、新年度が始まりました。1年生はもちろんのこと、2・3年生も一つずつ学年が上がって、新たな気持ちで頑張ろうと意気込んでいることでしょう。

さて、本年度は教科化して「特別の教科 道徳」となり2年目の年です。昨年度の経験を生かし、授業方法の更なる工夫をめざそうと思っております。自分を見つめ、友人の考えを聞き、みんなが楽しく生活するためにはどうしたらいいのかをより深く考えていく授業の展開をめざしていきます。

新年度を迎えるにあたり、本年度大切にしてほしいことを詩で一編紹介します。

雑草

須永博士

動かなければだめです
 ねがわなければだめです
 求めなければだめです
 何もしないでいると
 何もなま時はすぎてゆきます
 そのとき そのとき なんでもいい
 やってみることで
 かかわってみることで
 ためしてみることで
 いやならやめればいいんです
 やりたければつづければいいんです
 人生一度しかないんです
 あなた、
 雑草のようにたくましく生きて下さい

道徳では自分自身について考えることがあります。自分の夢や言動について見つめ直し、より良い生き方とは何かについて深めてまいります。考えれば、考えるほど、自分について悩むこともたくさんでくるでしょう。そんなときこそ、前向きな考え方で、何事にもチャレンジできる山中生であってほしいものです。

「特別の教科 道徳」について

「特別の教科 道徳」には授業と評価の2つのポイントがあります。

♪ポイント① 授業の組み立て方


教師が「〇〇は正しいことです。」と教えるだけではなく、さらに、自分の中で深める時間を設定します。例えば、「目標に向かってがんばってやり遂げたときはいい気持ちだなあ。」ということを確認するだけでなく、「大切なことだけど、実現は難しいことだ。」とか、「人によってとらえ方が違っているかもしれない。」といった多様な意見にも目を向け、対話や議論を通して内容を深めていきたいと思えます。また、基本的には担任の先生が授業を行います。1年間に1回程度、学年団の先生方が順番に授業をする「ローテーション道徳」を行います。

♪ポイント② 評価

特別の教科ということで、評価が行われます。しかし、9教科で行う評価とは異なり「数値評価はしない」、「入試には活用しない」、「挨拶ができるようになった等の具体的な行動を評価するわけではない」といったことが決められています。また、評価の観点には「考えをいろいろな見方へと発展しているか」、「道徳的な考え方を理解し、自分自身との関わりの中で深めているか」の2つです。そこで、道徳科の評価とは「一人ひとりの学習の状況や成長の様子を大きくりに記述式で行う」ようになります。

山田中学校の道徳では生徒会目標【虹～認めよう、みんなの個性 輝かそう、自分の個性～】にちなみ、「七色の声」を大切にしています。

「七色の声」とは



赤	夢	希望	緑	いのち
橙	自信		青	思いやり
黄	素直な心		藍	なかま
			紫	自主・自律

本年度も、道徳の週は継続します。学習の様子は「道徳便り」でお知らせいたします。また、振り返り用紙を利用して、一年間の学びや成長を確認していきます。

切り取り線

ご意見欄

お名前

